



持続可能な循環型社会の形成を目指す

ヤマダイインフラテクノス株式会社

(旧 山田塗装株式会社)

ヤマダイインフラテクノス株式会社

所在地： 愛知県東海市名和町石塚12番地の5

代表者： 代表取締役社長 山田博文

資本金： 2,000万円

従業員数： 48名（平成28年2月29日現在）

URL： <http://www.eco-yamadapeint.co.jp/>

1 事業の概要

鉄の町としても知られている愛知県知多郡上野町（現東海市）にて、昭和28年創業し今日まで鉄と共に業を営んできました。“鉄”は錆びる。だから守る。という精神のもと、鋼構造物やコンクリート構造物を守るために新工法の開発と技術の向上を図ることで”人”や”環境”にやさしい社会づくりを目指しています。一般の公共工事や建築工事からプラント/タンク塗装まで幅広くかけています。

2 環境への取り組み

「地球環境保護と限りある地球の資源を大切に使う」をスローガンとし、これを推進させるために様々な取り組みを実践しています。新工法の開発では、研削材を循環再利用により産業廃棄物を50分の1にし、研削材に金属性研削材を使用することで、施工中の粉塵を削減する「循環式エコクリーンブラスト工法」や温室効果ガスの排出量を大幅に削減し、再生資源を作ることができる「エコクリーンヒートプレス」を採用しています。

3 J-クレジット活用手法

中部産CO₂クレジットや地元のJ-VERなどを利用し、循環式エコクリーンブラスト工法による施工に伴うCO₂排出量の50%に対して、カーボン・オフセットを行いました。具体的には、コンプレッサー・発電機の使用および廃棄物の輸送・処理の段階で排出されるCO₂の50%を無効化しています。

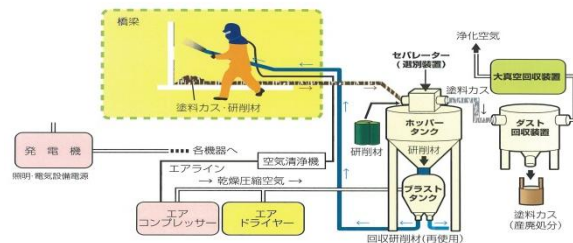
4 取組の感想

カーボン・オフセットを導入した当初は、カーボン・オフセットの意味も理解してもらえず、またコストアップに繋がるイメージが強かったのですが、豪雨や暖冬の異常気象を防ぐためにも地球温暖化対策のひとつとなるカーボン・オフセットの必要性が理解されてきました。

5 制度活用による効果

最初は実感が沸かなかったのですが、植樹活動を実践するようになり社員の環境への意識が変わりました。また第16回国土技術開発賞において「地域貢献技術賞」、中部カーボン・オフセット大賞で「貢献賞」、第49回グッドカンパニー大賞の「特別賞」といった表彰での受賞につながり、会社のブランド力を発信する取り組みのひとつとなっています。

6 活用イメージ

J-クレジット活用量 70tCO₂/年（合計オフセット量124tCO₂）